

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	新潟県立看護大学
設置者名	公立大学法人 新潟県立看護大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
看護学部	看護学科	夜・通信			117	117	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cu.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/syllabus/files/jitumukyoin.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新潟県立看護大学
設置者名	公立大学法人 新潟県立看護大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページに掲載
<https://www.niigata-cn.ac.jp/hoteikokai/yakuin.htm>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元公立大学法人(他法人) 役員	2021.4.1～ 2023.3.31	教育・研究
非常勤	株式会社役員	2021.4.1～ 2023.3.31	地域貢献・国際交流
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新潟県立看護大学
設置者名	公立大学法人 新潟県立看護大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>10月 授業計画書(シラバス)作成に向けた検討開始 11月下旬 授業担当教員へ授業計画書(シラバス)原稿作成の依頼 1月中旬 授業担当教員より各科目の授業計画書(シラバス)原稿提出 3月下旬 授業計画書(シラバス)冊子完成 4月初旬 授業計画書(シラバス)冊子を全学年の学生へ配付併せて、大学ホームページへ掲載</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>全学年の学生へシラバス(冊子)配付 大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cu.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/syllabus/index.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生便覧に、ディプロマ・ポリシーの学年別到達目標を掲げ、目指すべき指標を明示している。 ・同じく学生便覧に、履修の手続き、単位の認定、成績評価、卒業要件等について周知している。 ・また、授業計画書(シラバス)に、科目毎の評価方法・評価基準を明記している。 	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

○学生便覧に、GPAにおける成績評価方法について記載している。

具体的な記載は下記のとおり

学習成果をみるためのGPAによる成績評価

本学では一定期間の学習成果をみる指標として、GPA (Grade Point Average) 制度を導入しています。

授業科目の成績は得点に応じた5段階評定(A～F)とし、Fは不合格とします。表のように、科目ごとの成績評価に応じたポイントを与え(GP: Grade Point)、その科目の単位数を以下の計算式にあてはめて算出します。GPA2.0未満の学生は指導の対象となります。その他、必要に応じて指導することがあります。

$$\text{GPA} = \frac{\text{[(その科目のGP)} \times \text{(その科目の単位数)}] \text{の総和}}{\text{(履修科目の単位数)} \text{の総和}}$$

(小数点第3位以下四捨五入)

【表】

成績評価	A	B	C	D	F
GP (grade point)	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

・なお、学生各個人に学期末毎に成績表を配付し、学年末には保護者にも配付している。

・希望者には、総通算GPAを基準とした学年順位を開示しており、各人が自ら、学年内における成績を把握することができる。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学生便覧(毎年度学生全員へ配付)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

○学位授与方針(ディプロマポリシー)は、大学ホームページで公表している。

また、学則で定める在学年数及び卒業所要単位数等は、学生便覧に詳細な卒業要件(選択課程毎に必要な単位数や選択科目における要件)として記載し、周知している。

なお、具体的な卒業判定の手順は、次のとおり

2月初旬 教務委員会で審議

2月中旬 教授会で審議

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学生便覧(毎年度学生全員へ配付)

学位授与の方針

大学ホームページに掲載

[https://www.niigata-](https://www.niigata-cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/2015-0610-1434-15.html)

[cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/2015-0610-1434-15.html](https://www.niigata-cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/2015-0610-1434-15.html)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	新潟県立看護大学
設置者名	公立大学法人 新潟県立看護大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/files/R1zaimusyohyou2.pdf
収支計算書又は損益計算書	大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/files/R1zaimusyohyou2.pdf
財産目録	
事業報告書	大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/files/R1zaimusyohyou2.pdf
監事による監査報告(書)	大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/files/R1zaimusyohyou2.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和3年度年度計画 対象年度:2021年度)
公表方法:大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/files/2021nenndokeikaku.pdf
中長期計画(名称:第2期中期計画 対象年度:2019年度~2024年度)
公表方法:大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/files/dai2kityukikeikaku.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:大学ホームページに掲載 https://niconurs.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=1206&item_no=1&page_id=13&block_id=21

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/files/daigakuhyouka.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 新潟県立看護大学看護学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページに掲載） https://www.niigata-cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/shishin.html
(概要) 【看護大学がめざすこと】 いのちの大切さ、ひとの喜びや悲しみを理解できる豊かな人間性。 看護にとって何よりも大切なこと、それは「こころ」です。新潟県立看護大学では、人の喜びや悲しみをわかちあえる豊かなこころを育てます。 あらゆる生活場面に対応できる技術と知識、そして科学的判断力を養います。 深い洞察力をもって自己成長への志向を育むとともに、基礎的・先進的知識と技術を学ぶことにより、多様に変化する人々の健康と時代のニーズに柔軟に対応できる人材を養成します。 看護を保健・医療・福祉の総合的な角度から見つめ、コーディネートできる能力を身につけます。 保健・医療・福祉の総合的な視野を持ち、関連分野の人々と連携・協力して行われるを通して、全体を調整・管理できる能力を身につけます。 コミュニケーション能力を養い、社会の変化を察知する。 多様化する情報を的確に捉え、自らも学習を積み重ねながら正しく発信する能力を身につけます。 グローバルな視野で物事を考えることのできる、国際派の人間に。 地域や国を越え、看護の活躍の場がますます広がる中、語学力とともにこれからの国際社会で活躍できる人材を育てます。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページに掲載） https://www.niigata-cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/2015-0610-1434-15.html
(概要) 【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】 看護専門職者として人々の健康を支援するために、次の能力を身につけた学生に学士（看護学）の学位を授与する。 (1) 専門職として人間愛と高い倫理観を身につけている。 (2) 人々の健康と生活を総合的にとらえ、生活の向上にむけた関わりの手法を身につけている。 (3) さまざまに異なる健康状態に応じた看護の実践力を身につけている。 (4) 看護の専門性をもちながら、多職種と連携・協働しながら保健医療福祉を発展させる能力の基礎を身につけている。 (5) 看護専門職者として国際的な視野に基づき、看護の課題に取り組む態度と能力を身につけている。 (6) 生涯にわたって看護の発展と看護専門職としてのキャリア開発のために主体的に向上させていく能力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページに掲載）
https://www.niigata-cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/2015-0610-1403-15.html

（概要）

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

本学の教育課程は、教育理念に基づく教育目標を達成するために、「基礎科目」「専門支持科目」「専門科目」の3科目群で編成し、4年間を通じて段階的に教育が受けられるように以下のように構成している。

<1年次>

- ・豊かな人間性の涵養と総合的判断力、コミュニケーション能力の土台となる多様な視点を育成することを目的として「基礎科目群」を配置している。
- ・生活者に対する洞察力・想像力を育成するために、地域社会の人々と交流するプログラムとして「ふれあい実習」を組み込みこんでいる。
- ・質の高い対人交流能力を修得させるとともに、生涯学習の態度と基本的な知的探求の技術を修得することを目指し、少人数ゼミナール教育を組み込みこんでいる。
- ・看護に必要な科学的知識として人体の構造や機能、病態について理解できるように「専門支持科目」を配置している。
- ・看護学や看護職への動機づけを高めるために看護学概論、地域看護学概論、公衆衛生看護学概論、国際看護論、ライフステージと看護、成人看護学Ⅰ、看護援助論Ⅰ・Ⅱおよび基礎看護技術演習Ⅰ、初めての病院実習となる基礎看護学実習Ⅰなどの「専門科目」を配置している。

<2年次>

- ・看護に必要な科学的知識として、病態、感染について理解できること、および保健・医療・福祉の視点から看護活動の必要性が判断できることを目的とした「専門支持科目」を配置している。
- ・1年次の専門科目を基盤にして、基礎看護技術演習Ⅱ、日常生活援助を主体とした基礎看護学実習Ⅱ、健康状態やライフステージに応じた対象者とその家族の看護の必要性を理解するための「専門科目」を配置している。

<3年次>

- ・「専門科目」が中心となり、健康状態やライフステージに応じた看護技術の修得のための演習、および対象の健康状態や個別性を考慮し、科学的根拠に基づいた看護実践能力を育成するための臨地実習を配置している。
- ・看護の発展に必要な看護研究の基礎を学ぶ科目を組み込んでいる。
- ・保健師課程（選択）と助産師課程（選択）では、後期から各国家試験の受験資格取得のための科目を配置している。

<4年次>

- ・「専門科目」が中心となり、研究的視点や生涯学習能力を育成するための少人数制の専門ゼミナールや看護研究をはじめ、看護実践の専門性や看護マネジメント能力を養うための総合実習を組み込んでいる。
- ・多様な分野での看護職としての活躍と看護の発展に寄与するために、看護政策・行政、国際看護などに関する科目を配置している。
- ・保健師課程（選択）では、地域で生活する人の健康増進や疾病予防、健康回復を支援するための知識・技術を修得し、保健師国家試験の受験資格取得のための科目を配置している。
- ・助産師課程（選択）では、妊娠・分娩・産褥・新生児期における助産診断および分娩介助技術を含む助産技術を習得するとともに、女性の一生における健康を維持・増進するためのケアを学び、助産師国家試験の受験資格取得のための科目を配置している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページに掲載）
https://www.niigata-cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/admission.html

（概要）

【アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）】

新潟県立看護大学看護学部では、次のような学生を求める。

- （１） 看護をはじめとする保健・医療・福祉の分野に興味関心をもち、社会に貢献したいという志がある人
- （２） 人間を尊重し、共感的態度で人とかかわることができる人
- （３） 協調性を持ちながら自分の意思を表現できるコミュニケーション力を身につけている人
- （４） 高い基礎学力を有し、向上心や探究心をもって主体的に学習や行動ができる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページに掲載
<https://www.niigata-cn.ac.jp/guide/outline/soshiki.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
看護学部	—	11人	13人	7人	16人	3人	50人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		31人					32人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cu.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/teacher/index.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学部	95人	94人	98.9%	380人	380人	100.0%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	95人	94人	98.9%	380人	380人	100.0%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学部	96人 (100%)	2人 (2.1%)	93人 (96.9%)	1人 (1.0%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	96人 (100%)	2人 (2.1%)	93人 (96.9%)	1人 (1.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 進学先：新潟大学養護教諭特別別科 就職先：新潟大学医歯学総合病院、新潟県立病院、新潟市民病院、新潟県厚生農業協同組合連合会、上尾中央総合病院、信楽園病院、立川総合病院、魚沼基幹病院、独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター、独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター、済生会新潟病院、新潟白根総合病院、虎の門病院、佐渡市等				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>○ 各授業科目における、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画については、授業計画書（シラバス）に明記している。</p> <p>なお、授業計画書の作成に係る手続きは以下のとおり</p> <p>10月 授業計画書（シラバス）作成に向けた検討開始</p> <p>11月下旬 授業担当教員へ授業計画書（シラバス）原稿作成の依頼</p> <p>1月中旬 授業担当教員より各科目の授業計画書（シラバス）原稿提出</p> <p>3月下旬 授業計画書（シラバス）冊子完成</p> <p>4月初旬 授業計画書（シラバス）冊子を全学年の学生へ配付 併せて、大学ホームページへ掲載</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>○ 学習の成果に係る評価については、学生便覧に、G P Aにおける成績評価方法として記載しており、具体的な記載は下記のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習成果をみるためのG P Aによる成績評価 <p>本学では一定期間の学習成果をみる指標として、G P A（Grade Point Average）制度を導入しています。</p> <p>授業科目の成績は得点に応じた5段階評定（A～F）とし、Fは不合格とします。表のように、科目ごとの成績評価に応じたポイントを与え（G P : Grade Point）、その科目の単位数を以下の計算式にあてはめて算出します。G P A 2.0未満の学生は指導の対象となります。その他、必要に応じて指導することがあります。</p> $GPA = \frac{[(\text{その科目のG P}) \times (\text{その科目の単位数})] \text{の総和}}{(\text{履修科目の単位数}) \text{の総和}}$ <p style="text-align: right;">(小数点第3位以下四捨五入)</p> <p>【表】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成績評価</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>G P (grade point)</td> <td>4. 0</td> <td>3. 0</td> <td>2. 0</td> <td>1. 0</td> <td>0. 0</td> </tr> </tbody> </table>	成績評価	A	B	C	D	F	G P (grade point)	4. 0	3. 0	2. 0	1. 0	0. 0
成績評価	A	B	C	D	F							
G P (grade point)	4. 0	3. 0	2. 0	1. 0	0. 0							

<p>・なお、学生各個人に学期末毎に成績表を配付し、学年末には保護者にも配付している。</p> <p>・希望者には、総通算GPAを基準とした学年順位を開示しており、各人が自ら、学年内における成績を把握することができる</p> <p>○学位授与方針（ディプロマポリシー）は、大学ホームページで公表している。</p> <p>また、学則で定める在学年数及び卒業所要単位数等は、学生便覧に詳細な卒業要件（選択課程毎に必要な単位数や選択科目における要件）として記載し周知している。</p> <p>なお、具体的な卒業判定の手順は、次のとおり</p> <p>2月初旬 教務委員会で審議</p> <p>2月中旬 教授会で審議</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	看護師課程 127 単位	有・無	単位
		看護師・保健師 課程 133 単位		
		看護師・助産師 課程 149 単位		
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページに掲載
<https://www.niigata-cn.ac.jp/guide/outline/shisetsu.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	535,800 円	新潟県内者 282,000 円	0 円	
			新潟県外者 564,000 円		
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 1 学年～3 学年に学年担任 (各学年ごとに 3 人の教員が担当) を置いて、学生の様々な相談に応じています。学業に関する相談は、この学年担任か科目担当教員に相談することとしています。各科目担当教員への質問・相談がある時は、教員のオフィスアワーを活用 (対応可能時間帯や予約などを確認) することで適切な相談ができます。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 就職・進学に関する疑問、不安、迷い等があるときは、学年担任かゼミ担当教員、または学生委員や国家試験対策・就職委員、さらに事務局図書学生係に相談できます。 また、進路情報コーナーを開設し、求人情報、進学情報、国家試験関係等の情報を公開しています。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 1. 健康相談 健康に関する心配事や病気に関する不安があるときは、学校医・保健師・保健指導員に気軽に相談することができ、相談の秘密は守られます。 2. 心の健康相談 心理カウンセラーが週一日在室し、対人関係などのさまざまな悩みの相談を受け付けています。 3. 大学ホームページや学生便覧に、個別の事例に応じた相談方法が記載されています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/jyohokokai/index.html
